

京銀サステナブル預金 年次レポート

2025年6月

 京都フィナンシャルグループ

 京都銀行

京銀サステナブル預金 充当状況

2024年9月2日～2025年2月28日の期間に募集した「京銀サステナブル預金」につきまして、2025年2月末日における資金充当状況およびインパクトレポートについてお知らせします。
お預入れいただいた預金は、全額を適格サステナブルファイナンスに充当しております。

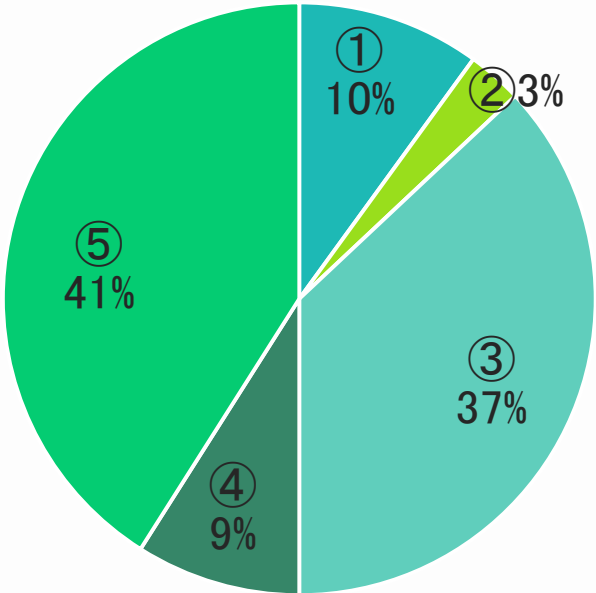
◆ 充当状況

京銀サステナブル預金残高	適格サステナブルファイナンスの残高
193.3億円	226.4億円

※京銀サステナブル預金（外貨定期）および外貨建サステナブルファイナンスは、2025年2月末日時点における外国為替相場（仲値）にて、円換算しております。

◆ 適格サステナブルファイナンス別充当状況

サステナブルファイナンス種別		充当額	割合
①	グリーンローン	21.9億円	10%
②	ソーシャルローン	6.3億円	3%
③	サステナビリティ・リンク・ローン	54.0億円	37%
	サステナビリティ・リンク・ローン(京都版)	31.4億円	
④	トランジション・リンク・ローン	20.0億円	9%
⑤	ポジティブ・インパクト・ファイナンス	92.9億円	41%



※千万円未満の金額は四捨五入しております。

サステナブルファイナンスがもたらした環境と社会へのインパクト

環境改善効果や社会へのインパクトについて、適格サステナブルファイナンス別にお知らせします。各サステナブルファイナンスについては、ご利用のお客さまの一部の活動に貢献しております。

◆グリーンローン

カテゴリー	プロジェクト概要	CO2排出削減量
クリーン輸送	・xEVをはじめとするエコカー向け車載関連機器用のアルミ電解コンデンサの生産能力拡充	865,600.0 t-CO2/年
エネルギー効率／再生可能エネルギー (一部クリーン輸送を含みます)	・全電気溶融炉への転換 ・太陽光発電設備 等	41,567.4 t-CO2/年
グリーンビルディング	・『ZEB』を取得した物流センターの取得	51.6 t-CO2/年

※CO2排出削減量については、グリーンローンをご利用のお客さまのレポート内容転記したものであり、弊行の融資が直接関与しない貢献分も含まれる可能性があります。

サステナブルファイナンスがもたらした環境と社会へのインパクト

◆ソーシャルローン

プロジェクト概要	対象となる人々	居住者数	社会的インパクト	関連するSDGs
サービス付き高齢者向け住宅	高齢者	51人	・高齢の要介護者に安心して快適な住空間及びサービスの提供 ・施設の運営に伴う雇用の創出 ・災害時における地域住民の一時避難場所の提供	 

◆トランジション・リンク・ローン

トランジション・リンク・ローンをご利用のお客さまのCO2排出量削減に向けた具体的な取り組み例をご紹介します。

目標達成に向けた具体的な取り組み

- ・太陽光、風力発電といった再生可能エネルギーの導入拡大
- ・太陽光PPAサービスの拡大
- ・火力発電のトランジションに向けた、水素・アンモニア発電の導入検討
- ・バイオマス混焼率の拡大

サステナブルファイナンスがもたらした環境と社会へのインパクト

◆サステナビリティ・リンク・ローン（サステナビリティ・リンク・ローン（京都版）を含む）

サステナビリティ・リンク・ローン（サステナビリティ・リンク・ローン（京都版）を含む）では、お客さまのCO2排出量削減に資する事業へ充当しました。業種別の充当額と具体的な取組み例をご紹介します。

◆業種別の充当額

幅広い業種のお客さまにご利用いただいております。

業種	充当額
製造業	71億円
卸売業・小売業	5億円
建設業	2億円
医療・福祉	5億円
運輸業・郵便業	1億円
その他	1億円

◆業種別のCO2排出量削減に向けた具体的な取組み

業種	具体的な取組み
製造業	- 太陽光発電設備の導入 - 設備更新等、生産プロセスにおける省エネ - 不良品ゼロに向けた不良削減活動の実施 - 電力変換効率の良い電源装置の販売促進
建設業	- 太陽光発電設備の導入 - 社屋のオール電化・LED照明への切替 - 断熱効果の高い複層ガラスサッシの導入
運輸業・郵便業	- 空車回送が発生しない配送ルート効率化 - ハイブリッド車や電気自動車等、環境配慮型車両の導入 - 従業員のエコドライブによるトラックの燃料費削減

ポジティブ・インパクト・ファイナンス(PIF)

PIFで設定している目標(KPI)について、関連するSDGs目標ごとに設定した目標の一例を紹介しております。

